

第 2 章 付属施設

1)	防護柵設置工	334
1)-1	ガードケーブル設置工	334
1)-2	落石防止網（繊維網）設置工	337
1)-3	立入り防止柵工	338
1)-4	車止めポスト設置工	340
1)-5	防雪柵設置及び撤去工	341
1)-6	防雪柵現地張出し・収納工	344
1)-7	雪崩発生予防柵設置工	346
1)-8	雪崩発生予防柵設置工（円形空洞型枠工，立入防止柵工，柵板設置工）	350
1)-9	ボックスビーム設置工	352
1)-10	遮光フェンス設置工	353
1)-11	雪崩発生予防柵（PC 製）設置工	356
1)-12	落下物等防止柵設置工	358
2)	鋼スノーシェッド工	359
3)	しゃ音壁設置工	362
3)-1	しゃ音壁設置工	362
3)-2	基礎杭打工（しゃ音壁）	371
4)	路側工	374
4)-1	路側工（据付け）	374
4)-2	路側工（取外し）	377
5)	特殊ブロック設置工	379
6)	組立歩道工	381
7)	橋梁付属施設設置工	385
8)	トンネル内装板設置工	388
9)	道路付属物設置工	390
10)	スノーポール設置・撤去工	391
11)	道路植栽工（客土工）（上層 30cm）	392

1) 防護柵設置工

1)-1 ガードケーブル設置工

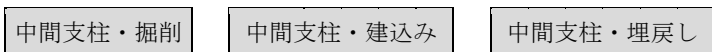
1. 適用範囲

本資料は、ガードケーブルの設置に適用する。ただし、耐雪型のガードケーブルには適用しない。

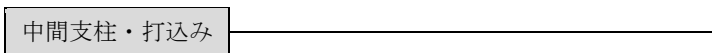
2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。

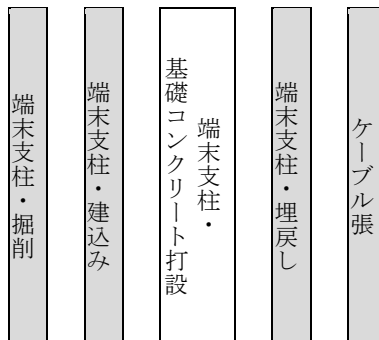
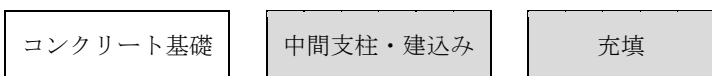
土中建込用（人力施工）



土中建込用（機械施工）



コンクリート建込用



(注) 本歩掛で対応しているのは、着色部分のみである。

3. ガードケーブルの種類

ガードケーブルの種類は、次表を標準とする。

表 3.1 ガードケーブルの種類

区分	土中建込中	コンクリート建込用	ケーブル条数
	規格	規格	
路側用	Gc-A-6E・5E・4E	Gc-A-4B	5
	Gc-B-6E・5E・4E	Gc-B-4B	4
	Gc-C-6E・5E・4E	Gc-C-4B	3
	Gc-S-4E	Gc-S-2B	6
分離帯用	Gc-Am-6E	Gc-Am-4B	8
	Gc-Bm-6E	Gc-Bm-4B	6

(注) 土中建込用は機械打込を標準とし、機械打込できない場合は、人力建込とする。

4. 機種を選定

土中建込用中間支柱の打込みにおける規格は、次表を標準とする。

表 4.1 機種を選定

機械名	規格	単位	数量
ガードレール支柱打込機	モンケン式, 400~600kg	台	1

5. 日当り編成人員

日当り編成人員は、次表を標準とする。

表 5.1 日当り編成人員

(人)

施工区分	端末支柱建込	中間支柱建込				ケーブル張
		機械打込		人力建込	コンクリート建込	
職種	普通作業員	世話役	普通作業員	普通作業員	普通作業員	普通作業員
単位	人	人	人	人	人	人
数量	4	1	4	4	4	3

6. 施工歩掛

日当り施工量は、次表を標準とする。

表 6.1 日当り施工量

(1日当り)

施工区分		単位	数量
端末支柱建込		本	9
中間支柱建込	機械建込	//	50
	人力建込	//	9
	コンクリート建込	//	17
ケーブル張	Gc-A-6E・5E・4E Gc-A-4B	m	60
	Gc-B-6E・5E・4E Gc-B-4B	//	75
	Gc-C-6E・5E・4E Gc-C-4B	//	100
	Gc-S-4E Gc-S-2B	//	50
	Gc-Am-6E Gc-Am-4B	//	38
	Gc-Bm-6E Gc-Bm-4B	//	50

(注) 1. 上記歩掛には総て現場内小運搬を含む。

2. ケーブル張の歩掛は、ガードケーブル施工延長当りの歩掛であり、ケーブル引伸し、取付け、ブラケット取付等を含む。

3. 人力建込歩掛には、掘削、埋戻しを含む。

4. コンクリート建込歩掛には、充填を含む。

5. 舗装版の削孔が必要な場合は別途計上する。

6. コンクリート基礎は別途計上する。

7. 撤去する場合は、上記施工量の2倍とする。

7. 単価表

(1) 端末支柱 100 本当り単価表

種別	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	4×100/D	表 5.1, 表 6.1
端末支柱		本		
諸雑費		式	1	
計				

(注) D: 日当り施工量

(2) 中間支柱建込(機械打込) 100 本当り単価表

種別	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×100/D	表 5.1, 表 6.1
普通作業員		〃	4×100/D	〃
中間支柱		本		
ガードレール支柱打込機運転	モンケン式 400~600kg	日	1×100/D	表 4.1, 表 6.1
諸雑費		式	1	
計				

(注) D: 日当り施工量

(3) 中間支柱建込(人力建込) 100 本当り単価表

種別	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	4×100/D	表 5.1, 表 6.1
中間支柱		本		
諸雑費		式	1	
計				

(注) D: 日当り施工量

(4) ケーブル張 100m 当り単価表

種別	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	3×100/D	表 5.1, 表 6.1
ガードケーブル		m		
諸雑費		式	1	
計				

(注) D: 日当り施工量

(5) 機械運転単価表

名称	規格	適用単価表	指定事項
ガードレール支柱打込機	モンケン式 400~600kg	機-19	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →35 機械損料数量 →1.25

1)-2 落石防止網（繊維網）設置工

1. 施工歩掛

落石防止網（繊維網）設置の歩掛は次表とする。

表 1.1 落石防止網（繊維網）

(100m2 当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
ネット	ポリエチレン 37.5×37.5	m2	101.3	
普通作業員		人	5.2	

(注) 1. 仮設材として使用する場合は損率を 30%とする。

2. 撤去する場合は上記歩掛の普通作業員の 50%とする。

2. 単価表

(1) 落石防止網（繊維網）設置 100m2 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	5.2	表 1.1
ネット	ポリエチレン 37.5×37.5	m2	101.3	//
諸雑費		式	1	
計				

1)-3 立入り防止柵工

1. 適用範囲

本資料は、柵高 2m 以下、支柱間隔 2m の人力建込みによる立入り防止柵のうち金網柵の設置・撤去・再利用設置に適用する。

金網（フェンス）と支柱を設置・撤去・再利用設置する場合は施工パッケージを適用する。

支柱のみを設置・撤去・再利用設置する場合は歩掛を適用する。

2. 施工パッケージ

2-1 基礎ブロック（立入防止柵）、金網（フェンス）・支柱（立入防止柵）

【SPK13040056】

【SPK13040057】

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 2.1 積算条件区分一覧

(基礎ブロック 積算単位：個)
(金網（フェンス）・支柱 積算単位：m)

作業区分
設置
撤去
再利用設置

(注) 1. 設置の場合（材料込みの新設設置）

- ・ 管理施設等への立入を防止するために行う金網柵（柵高 2m 以下、支柱間隔 2m）のプレキャスト基礎ブロックの設置、支柱設置、金網設置（胴縁取付・金網張立）、作業土工（床掘り・埋戻し）、充填材（モルタル）の混練及び打設等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

2. 撤去の場合

- ・ 管理施設等への立入を防止するために行う金網柵（柵高 2m 以下、支柱間隔 2m）のプレキャスト基礎ブロックの撤去、支柱撤去、金網撤去等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

3. 再利用設置（設置手間のみの流用品・支給品等使用）の場合

- ・ （注）1 の設置費のみを含む（基礎ブロック本体の材料費及び支柱本体の材料費は含まない）。
- ・ 撤去に要する費用は含まない。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている代表的な規格である。

表 2.2 基礎ブロック(立入防止柵)、金網(フェンス)・支柱(立入防止柵) 代表機労材規格一覧

名称	項目	代表機労材規格		備考	
基礎ブロック (立入防止柵)	機械	K1			
		K2			
		K3			
	労務	R1	普通作業員		
		R2	土木一般世話役		
		R3			
		R4			
	材料	Z1	基礎ブロック フェンス用ブロック 18×55×45(cm)		設置の場合
		Z2			
		Z3			
		Z4			
市場単価	S				
金網(フェンス)・ 支柱(立入防止柵)	機械	K1			
		K2			
		K3			
	労務	R1	普通作業員		
		R2	土木一般世話役		
		R3			
		R4			
	材料	Z1	金網柵 H2000 アングル型 ビニル被覆 V-GS2 3.2×50		設置の場合
		Z2			
		Z3			
		Z4			
市場単価	S				

3. 施工歩掛

3-1 支柱設置歩掛

支柱設置(建込み)歩掛は、次表を標準とする。

表 3.1 支柱設置歩掛(人/100本)

名称	規格	単位	数量
世話役		人	0.8
普通作業員		〃	4.6
諸雑费率		%	6

(注) 1. 上表は、支柱の設置(建込み)、充填材(モルタル)の混練及び打設を含む。

2. 諸雑費は充填材(モルタル)等の材料費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

3. 撤去する場合は、上表歩掛の50%とする。

4. 単価表

(1) 支柱工100本当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		表 2.3
普通作業員		〃		〃
支柱		本	100	
諸雑費		式	1	表 2.3
計				

1)-4 車止めポスト設置工

1. 適用範囲

本歩掛は、車止めポストの設置で $\phi 114.3\text{mm}$ $L=1.4\text{m}$ 程度のものに適用する。

2. 施工歩掛

車止めポスト設置歩掛は、下表を標準とする。

表 2.1 車止めポスト設置

(100 本当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	20	

(注) 1. 基礎ブロック設置の材料及び労務は別途計上する。

2. 撤去する場合は、上記歩掛の 50%とする。

3. 単価表

(1) 車止めポスト設置 100m 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人	20	表 2.1
車止めポスト		本	100	
諸雑費		式	1	
計				

1)-5 防雪柵設置及び撤去工

1. 適用範囲

本資料は、防雪柵の設置及び撤去に適用する。また、種別及び施工方法は、次表を標準とする。

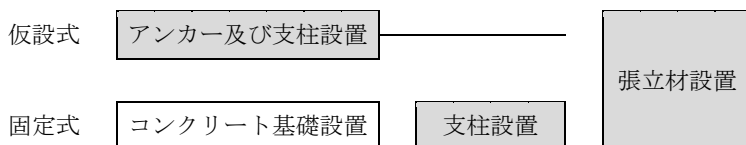
表 1.1 防雪柵の種別及び施工方法

種別	取付区分	張立材の種類	支柱の支持方法	柵高
吹溜式	仮設式	防雪板又は防雪網	土中に支柱を打込む又は土中にアンカーを打込み固定する	3.5m 以下
				3.5m を超え 6.0m 以下
	固定式	防雪板	コンクリート基礎に固定する	5.0m 以下
吹払式	仮設式	防雪板	土中にアンカーを打込み固定する	4.0m 以下
	固定式	防雪板	コンクリート基礎に固定する	4.0m 以下

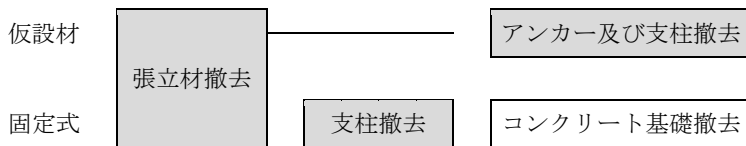
2. 施工概要

防雪柵の施工フローは、次図を標準とする。

設置作業



撤去作業



(注) 本歩掛で対応しているのは、着色部分のみである。

3. 日当り編成人員及び機種を選定

日当り編成人員及び機械・規格は、次表を標準とする。

表 3.1 日当り編成人員及び機種を選定 (1日当り)

作業種別	取付区分	柵高	職種 (人)		使用機械 (台)		
			世話役	普通作業員	名称	規格	台数
吹溜式	仮設式	3.5m 以下	1	10	—	—	—
		3.5m を超え 6.0m 以下	1	10	—	—	—
	固定式	5.0m 以下	1	6	トラック (クレーン装置付)	4t 積 2.9t 吊	1
吹払式	仮設式	4.0m 以下	1	10	—	—	—
	固定式	4.0m 以下	1	6	トラック (クレーン装置付)	4t 積 2.9t 吊	1

4. 日当り施工量

日当り施工量は、次表を標準とする。

表 4.1 日当り施工量 (1日当り)

種別	取付区分	柵高	単位	設置		撤去	
				支柱+張立柱材	張立柱材のみ	支柱+張立柱材	張立柱材のみ
吹溜式	仮設式	3.5m 以下	m	108	251	142	330
		3.5m を超え 6.0m 以下	"	69	160	91	212
	固定式	5.0m 以下	"	36	84	47	109
吹払式	仮設式	4.0m 以下	"	83	193	109	253
	固定式	4.0m 以下	"	48	112	63	147

(注) 上記歩掛には、現場内小運搬を含む。

5. 諸雑費

諸雑費は、脚立及び工具の損料等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5.1 諸雑費率

名称	単位	設置	撤去
諸雑費	%	0.2	0.2

6. 単価表

(1) ○○式防雪柵 (仮設式) 設置及び撤去 100m 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×100/D	表 3.1, 表 4.1
普通作業員		"	10×100/D	"
○○式防雪柵		m		必要に応じて設置の場合に計上
諸雑費		式	1	表 5.1
計				

(注) D: 日当り施工量

(2) ○○式防雪柵 (固定式) 設置及び撤去 100m 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×100/D	表 3.1, 表 4.1
普通作業員		"	6×100/D	"
○○式防雪柵		m		必要に応じて設置の場合に計上
トラック (クレーン装置付)	4t 積 2.9t 吊	日	1×100/D	表 3.1, 表 4.1
諸雑費		式	1	表 5.1
計				

(注) D: 日当り施工量

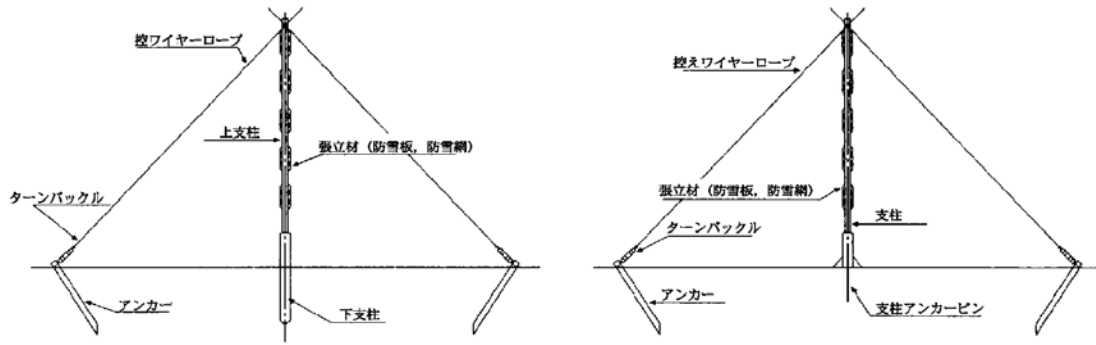
(3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
トラック (クレーン装置付)	4t 積 2.9t 吊	機-18	運転労務数量 →0.70 燃料消費量 →18 機械損料数量 →1.06

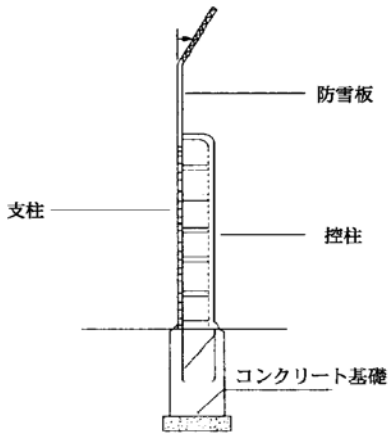
7. 防雪柵の概念図 (参考)

(1) 吹溜式防雪柵

(仮設式)

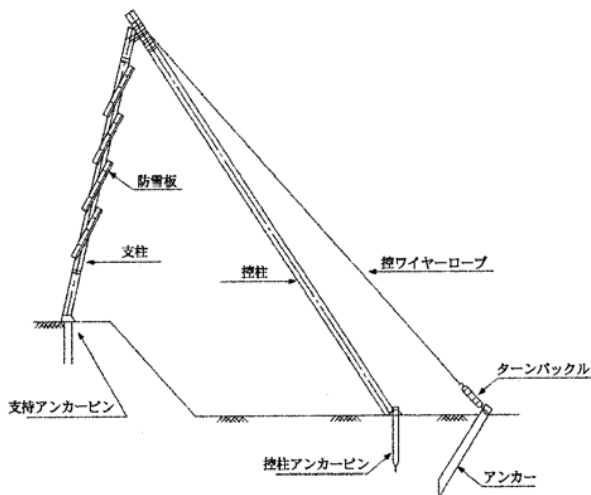


(固定式)

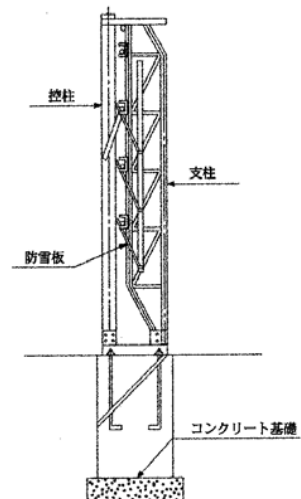


(2) 吹払式防雪柵

(仮設式)



(固定式)



1)-6 防雪柵現地張出し・収納工

1. 適用範囲

本資料は、現地収納式防雪柵の張出し及び収納に適用する。また、防雪柵の種類及び高さ・支間長は、次表を標準とする。

表 1.1 防雪柵の種類及び高さ・支間長

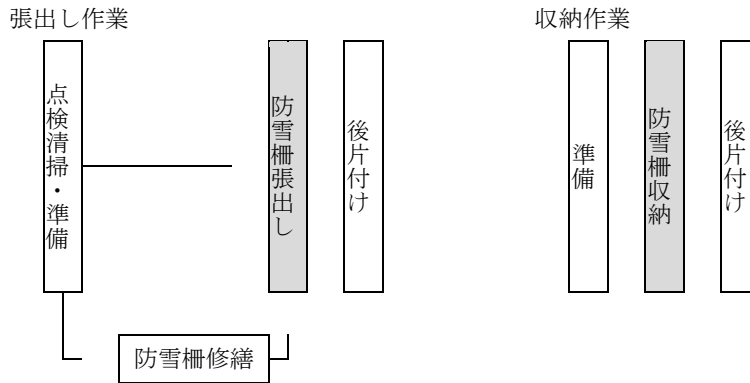
種類	収納方式	柵高	支間長
吹払式又は吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)	4.3m 以下	4.0m 以下

- (注) 1. 柵高は、張出し状態における支柱固定端から支柱・防雪板を問わず最上端となるまでの高さとする。
 2. 支間長は、支柱の中心間長さとする。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

図 2-1 施工フロー



(注) 本歩掛で対応しているのは、着色部分のみである。

3. 編成人員

防護柵現地張出し・収納工の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表 3.1 日当り編成人員 (人)

作業の種類	世話役	普通作業員
張出し	1	4
収納	1	4

4. 施工歩掛

日当り施工量は、次表を標準とする。

表 4.1 日当り施工量 (1日当り)

作業の種類	単位	数量
張出し	m	186
収納	〃	214

5. 諸雑費

諸雑費は、脚立及び工具の損料等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5.1 諸雑費率 (%)

張出し	0.1
収納	0.1

6. 単価表

(1) 張出し・収納 100m 当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×100/D	表 3.1, 表 4.1
普通作業員		〃	4×100/D	〃
諸雑費		式	1	表 5.1
計				

(注) D : 日当り施工量

7. 現地収納式防雪柵（吹払式）の概念図（参考）

